

2017年4月24日
TYOGA-2-APR/17

ガルダ・インドネシア航空

ジャカルタ スカルノ・ハッタ国際空港 5月1日よりT3の国際線運用開始

ガルダ・インドネシア航空会社(本社:ジャカルタ、インドネシア 最高経営責任者:パハラ・ヌグラハ・マンズリ)と、空港運営会社アンガサ プラ2は、2017年5月1日(月)よりジャカルタ スカルノ・ハッタ国際空港(CGK)のターミナル3(略称T3)にて国際線の正式運用を開始する旨を発表いたしました。T3は、すでに昨年8月よりガルダ・インドネシア航空の国内線の運航が開始されていますが、5月1日よりガルダ・インドネシア航空の国際線の運航も開始されます。

ジャカルタ スカルノ・ハッタ国際空港 T3は、2016年にSKYTRAX社より「The World's Most Improved Airport(世界で最も改善された空港)」に選ばれています。今回オープンする国際線ターミナルでは、64のイミグレーションカウンター(出発と到着にそれぞれ32ずつ)と、30のイミグレーション自動化ゲート(出発と到着にそれぞれ15ずつ)、6つのバゲージクレームポイント、6つの搭乗ブリッジを備え、1200台を収容できる駐車場が完備されています。国内線と国際線を含むターミナル全体での商業エリアは45,624平米で、買い物や映画、飲食などをお楽しみいただけます。またターミナル1、2、3の間は、巡回バス及び現在建設中のスカイトレインで結ばれる予定です。

T3への国際線の移転に伴い、ガルダ・インドネシア航空の国際線をご利用のお客様には、28のチェックインカウンターと、2,100㎡のスペースに406名収容可能なラウンジ(ビジネスクラスラウンジ収容数350名、ファーストクラスラウンジ収容数56名)をご利用いただけるようになります。

現在、ジャカルタ・スカルノハッタ国際空港における、ガルダ・インドネシア航空の国際線の運航便は30地域から1日あたり187便を運航しています。この度のT3への国際線の移転に伴い、ガルダ・インドネシア航空をご利用のお客様には同じターミナル内で国際線と国内線のお乗り継ぎを行っていただけるようになり、より便利にご利用いただけます。尚、移転に際し、ジャカルタ スカルノ・ハッタ国際空港 T3をご利用のお客様はお時間に余裕を持って空港へお越しください。

これからもインドネシアのナショナルフラッグキャリアとして、今後もより快適なサービスの提供を通じ、お客様への更なる利便性の向上を目指します。



T3チェックインフロア中央部のインフォメーションボード



T3国際線チェックインカウンターエリア

空港運営会社アンガサ プラ2について

インドネシア西部地域における空港および空港関連サービス業務をおこなう会社。ジャカルタ スカルノ・ハッタ国際空港をはじめ、ジャカルタ ハリム空港やメダンのクアラナム空港など、13の空港を運営。

■ガルダ・インドネシア航空会社について

インドネシア共和国を代表する航空会社。会社設立1949年。日本への運航開始は1962年3月。2016年12月時点での保有機体数は197機、平均機体年齢は4.6年。インドネシアの文化や伝統をベースとした、五感で感じるインドネシア「ガルダ・インドネシア・エクスペリエンス」がサービスコンセプト。日本発着便には日本人客室乗務員が乗務し、快適な空の旅の提供に努めている。2014年、スカイチームに加盟。スカイトラックス社(英国の格付け会社)による「The World Airline Awards」では、2年連続で「5スターエアライン」認定(2015・2016年)と「The World's Best Airline Cabin Crew」(2014・2015・2016年)を3年連続で受賞している。

<本リリースに関する問い合わせ>

ガルダ・インドネシア航空 篠

【E-Mail】 tyock@garuda-indonesia.co.jp

<報道関係者からのお問い合わせ先>

ガルダ・インドネシア航空 PR事務局 木村・齋藤(株式会社サステナブル内)

【E-Mail】 garuda.PR@sustainable.co.jp 【電話】 03-3376-6660